ジオパーク周遊マップ

九州ジオめぐり

九州ブロック

Geopark ジオパーク

貴重な大地の遺産、豊かな自然環境及び由緒ある歴史文化を丸ごと学び楽しむための「大地の公園」です。

See precious geological sites, enjoy abundant nature and learn all about the history and culture of the area at this geopark.

日本ジオパークネットワーク（Japanese Geoparks Network）

日本ジオパークネットワーク（JGN）は、日本国内のジオパークとジオパークをめざす地域をサポートし、ジオパークのネットワーキングの輪となる特定非営利活動法人（NPO法人）です。
ジオパークは、ユネスコの正式事業であり、地球科学的に価値の高い地質・地形のある自然遺産を保護・保全し、教育や防災活動、ジオツーリズムなどに活用し、地域の持続可能な開発をめざします。
ジオパークでは、自然、歴史、生活、食、文化などをとおして、地球の多様な物語を楽しむことができます。
日本では、ジオパークが急速に拡大しており、日本ジオパークネットワークの役割がますます重要になっています。

日本のジオパークマップ

Map of Geoparks in Japan

食べる・飲む × 九州 ジオパーク

九州の「美味しい」を食べよう！

① 姫島車えび（しっかーうんめ～）

姫島といえば車えび。塩田跡地を利用して始められた車えびの養殖は、沿岸漁業と並ぶ村の基幹産業。「姫島車えび」の名前で全国に知られています。プリプリの身にはほのかな、踊り食い、しゃぶしゃぶ、塩焼き、フライなど、どれも美味しく味わえます。

② 野菜（とーべーうめぇ）

9万年前の巨大火砕流により形成された広大な台地には、畑作地帯が広がっています。「甘太くん」でブランド化されたサツマイモ等の芋類や、西日本一の産地となったピーマン等の園芸栽培が盛んで、賞・量とも全国トップレベルを誇るシイタケ栽培は、険しい山地地形を利用した棚みたも言える逸品です。

③ 阿蘇のあか牛（ようこつうめぇ）

人々の生業の中で少なくとも1,000年守られてきた広大な阿蘇の草原。ここで放牧されるあか牛は、おいしい草を食べ、のびのびと歩き、ストレスがなく健康的です。赤牛を食べると約7.5mの草原が守られると言われています。草原に思いを馳せながら、ジオブランドに認定された「あか牛料理」をご堪能ください。

④ 島原手延べそうめん（やっぱうまかばい）

島原半島ならではの温暖な気候、地元で作られた小麦粉と塩、雲仙岳の豊かな伏流水といった風土を活かし、400年以上にわたって作られ続けている郷土料理です。島原半島の夏の風物詩として親しまれ、冷やしはもちろん、温めてもおいしく頂けます。「大引き」と呼ばれるそうめんを伸ばす工程の体験もすることができます。

⑤ 天草ちゃんぽん（だいきやうまかけん）

天草は少量多品目の食材が採れますこの天草の食材を余すことなく利用したのが、日本三大ちゃんぽんの1つ「天草ちゃんぽん」です。ブランドの豚・鳥・魚の旨味を使ったこだわりの一杯をそれぞれのお店でアレンジして提供しています。

⑥ 芋焼酎（でけーうめぇ）

南九州に広く分布するシラス台地では、火山性土壌や乾燥に強い「さつまいも」が多く栽培されています。そのさつまいもを原料にして作られた芋焼酎は火山がもたらした恵物であり、地元の人々に愛されています。また焼酎作りに欠かせない「水」は、良質にも積み重なった火山灰層や軽石層を所等もかけ原ち抜け、豊かたた水を使用しており、南九州の特産品である芋焼酎は、まさにジオの恵みです。

⑦ 桜島大根・桜島小みかん（わっぱーうまかー）

火山噴出物である軽石まじりの畑でたくましく育った「桜島大根」は、世界一重い大根として「ギネスブック」にも認定されています。また、火山麓蒸状地で育った「桜島小みかん」は直径3～5cmほどの小ぶりですが、甘味は数ある小みかんの中でも最高級と言われています。共に「故郷に残したい食材100選」に選ばれています。

⑧ 大名筍（わっぱーうまい）

あまりに稀少で高価なため、昔は大名しか食べることが出来なかったと言われる貴重な筍。アクがないため刺身でも食べることができ、パターソテーや丸焼きなども非常に美味です！現在でも5-6月しか採れない幻の筍を、三島村でどうぞご賞味あれ！

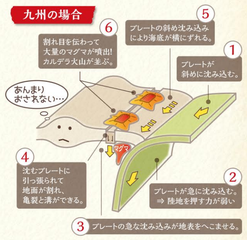
不思議なジオ島！「九州」

太古から人々が暮らし、御神楽やどんたく、くんちなどの独自の文化を紡ぎ、時に元寇や鉄砲伝来、明治維新といった歴史の舞台にもなった島・九州。この島の成り立ちには、どんな"ジオ的"ドラマやナゾが隠れているのでしょうか？

九州の動きはヘン？

日本列島の地下にはプレートが沈み込んでいます。そのため、日本列島の多くは、地面が大陸側に"押されて盛り上がる場"になっています。ところが九州は、プレートが沈み込むにもかかわらず、地面が"拡がりつつ沈む場"になっています。なぜ九州は、他とはかし異なる動きをするのでしょうか？

現在九州の下には、フィリピン海プレートが、横にずれながら、斜めに沈み込んでいます（①）。このフィリピン海プレートは、九州の下に沈み込んだあと、急に折れ曲がってマントルの中に落ち込んでいってしまいます（②）。九州付近は、プレートが地面を押す力が日本の他の地域に比べて弱いのです。急なプレートの落ち込みは地表をへこませ（③）、陸側に亀裂（正断層）と溝をつくります（④）。また、プレートが横にずれながら斜めに沈み込むので、亀裂に沿って溝が横にずれ（⑤）、地面に"すきま"ができます。この"すきま"はマグマの通り道となるため、溝のある場所に大きな火山（カルデラ火山）が並びます（⑥）。つまり、フィリピン海プレートの斜め沈み込みとその急激な落ち込みが、九州の特徴的な動きとカルデラ火山の列をつくりあげたのです。



九州はおよそ3億歳

九州の土台は、約3億年前から3000万年前にかけて、プレートが運んできた堆積物が大陸にくっつき続けて出来た、帯状の地層群です。北九州付近のカルスト台地をつくる石灰岩は、この時代に南の海から運ばれてきたサンゴ礁が大陸にくっつき、その後陸化したものです。約1億年前には、北部九州地域で起きたマグマの活動によって地面が隆起し、九州最初の陸地ができました。三池炭鉱に代表される北部九州の石炭層は、約5000万年前に、この陸地のまわりにあった当時の海に堆積した地層の一部です。およそ1500万年前、日本海の拡大によって西日本が時計回りに回転しました。これによって帯状の地層群が隆起し、九州は地がでてきたほか、陸地の回転に伴って地下で大量のマグマが発生・噴出し、祖母山、鉢山、大崩山などのカルデラ火山ができました。

約500万年前には、一度動きを止めていたフィリピン海プレートが、向きを変えて斜めに沈み込みを始めました。プレートの動く向きの変化は、阿久根や入吉付近で帯状の地層群を折り曲げたほか、沖縄諸島と中国大陸の間の海底（沖縄トラフ）の拡大をひきおこしました。この海底の拡大により、九州は全体が拡がりつつ沈むようになったのです。

500万年前以降、フィリピン海プレートは現在とほぼ変わらぬ状態で九州の下に沈み込み続け、姫島・阿蘇一霧島・桜島一薩摩硫黄島に至る活火山の列をつくっています。特に別府から島原半島にかけて九州を横断する大きな溝や、宮崎県南部の加久藤・小林カルデラから、姫島、阿多、鬼界へと続くカルデラ火山の列は、九州を特徴づける大地形です。

変動の激しい南九州とは対照的に、九州北西部は、約1500万～700万年前に火山活動があったものの、地面がゆっくりと沈む安定した場となっています。地面の沈降によって、川が削った谷が海に沈み、九十九島に代表されるたくさんの島々と複雑な海岸線（リアス海岸）ができています。

九州のナゾ

長崎県西部には、九州の土台である帯状の地層群を寸断するように、約1億年前にできた変成岩類がみられます。場所によっては約5億年前の岩体を含むこの変成岩類と、帯状の地層群との関係はよくわかっていません。雲仙岳は、地下にフィリピン海プレートが達していないにもかかわらず活火山として活動しており、そのマグマの起源が大きなナゾです。さらに、フィリピン海プレートの動く向きが変わったのは、500万年前でなく200万年前である、という説もあります。まだまだ分からないことがたくさんあるのですね。

九州のジオパークを楽しもう！

私たちはプレート運動と火山活動がうみだした大地の上で、その土地の自然環境を利用しながら、独自の文化と歴史を育くんでいます。九州でしか味わうことのできないジオストーリーが、そこにあります。ぜひ九州のジオパークで、人と地球のかかわりを五感で感じ、学び、楽しんでください。

ジオパーク周遊マップ

各地推進協議会所在地

島原半島ジオパーク協議会
〒855-0879　長崎県島原市平成町1-1 雲仙岳災害記念館内
TEL. 0957-65-5540 / FAX. 0957-65-5542
Web http://www.unzen-geopark.jp/　Mail info@unzen-geopark.jp

阿蘇ジオパーク推進協議会
〒869-2232　熊本県阿蘇市赤水1930-1　阿蘇火山博物館1階
TEL. 0967-34-2089 / FAX. 0967-34-2090
Web http://www.aso-geopark.jp/　Mail info@aso-geopark.jp

霧島ジオパーク推進連絡協議会事務局
〒899-4394　鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1　霧島市商工観光部霧島ジオパーク推進課
TEL. 0995-64-0936 / FAX. 0995-64-0958
Web http://www.mct.ne.jp/users/kiri-geopark/　Mail kiri-geopark@po.mct.ne.jp

天草ジオパーク推進協議会
〒863-0048　熊本県天草市中村町10-8
TEL. 0969-32-6778 / FAX. 0969-23-5312
Web http://hp.amakusa-web.jp/d0662/MyHp/Pub/　Mail ama-geo@city.amakusa.lg.jp

おおいた姫島ジオパーク推進協議会
〒872-1501　大分県東国東郡姫島村1630-1　姫島村役場内
TEL. 0978-87-2282 / FAX. 0978-87-3629
Web http://www.himeshima.jp/geopark/　Mail kikakusinkou03@vill.himeshima.lg.jp

おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会
〒879-7198　大分県豊後大野市三重町市場1200　豊後大野市商工観光課内
TEL. 0974-22-1001 / FAX. 0974-22-3361
Web http://bungo-ohno.com/　Mail d105030@bungo-ohno.jp

桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会
〒892-8677　鹿児島県鹿児島市山下町11-1 TEL. 099-216-1313 / FAX. 099-216-1320
Web http://www.sakurajima-kinkowan-geo.jp/
Mail geopark@city.kagoshima.lg.jp

三島村ジオパーク推進協議会
〒892-0821　鹿児島県鹿児島市名山町12番18号　三島村役場
TEL. 099-222-3141 / FAX. 099-223-1832
Web http://mishima.link/　Mail oiwane@mishimamura.jp

発行元 九州ジオパーク連絡会

2015年12月

島原半島

Unzen Volcanic Area UNESCO Global Geopark

平成新山と眉山

「人と火山の共生」をテーマに、世界的な活火山である雲仙火山による災害と復興、大地の恵みを体感することができるのが島原半島ユネスコ世界ジオパークの特徴です。
「雲仙普賢岳の平成噴火」を始めとした火山災害からの復興を学び、泉質が異なる温泉群や豊かな湧水、大地の恵みを活かした特産品を五感で楽しむことができるジオパークです。

In southern area of the geopark, basaltic lava flows erupted around 4.3 MA can be observed, which is the oldest volcanic rock in the area. In the southwest area, andesitic lava flows and debris flows which generated 2.5-1.5 MA are distributed in wide area. Activity of Unzen Volcano which situates in a centre of the area has started about 0.5 MA and still continues now. The Unzen Volcano has erupted dacitic lava and caused many lava domes, lava flows, and pyroclastic deposits. In the area the two significant volcanic disasters also occurred in the history: the large sector collapse event of Mayuyama dome during the 1791-92 eruption ("Shimabara Catastrophe"), and the attack of repeated pyroclastic flows and associated debris flows during the 1990-95 "Heisei" eruption. The Heisei eruption is the first eruptive event which is scientifically recorded in details the movements of magma from the magma reservoir to the surface generating the lava dome, and to the associated pyroclastic flow formation.

まずはここに行ってみよう！

がまだすドーム（雲仙岳災害記念館）

普賢岳の平成噴火で生じた火山災害と復興を伝える、全国初の火山体験ミュージアム。館内の無料ゾーンには島原半島の赤色立体地図があり、その大きさは国内最大級です。

〒855-0879　長崎県島原市平成町1番地1
TEL. 0957-65-5555　Web http://www.udmh.or.jp/
開館時間 9:00～18:00（入館は17:00まで）/ 年中無休（4月上旬にメンテナンス休館あり）
入館料 大人 ¥1000 / 中高生 ¥700 / 小学生 ¥500

体験しよう!!

雲仙普賢岳新登山道トレッキング

ガイドの案内を受けながら、四季により様々な姿を見せる雲仙普賢岳を楽しむことができます。

島原藩伝統の和ろうそくづくり

島原藩を襲った火山災害の後、財政に苦しむ藩を救った伝統品。全国でも数少ない木蝋工場で和ろうそくを作ります。

体験プログラムについてのお問い合わせ
島原半島観光連盟　TEL. 0957-65-0655
Web http://www.shimakanren.com/

阿蘇

Aso UNESCO Global Geopark

阿蘇五岳

阿蘇ユネスコ世界ジオパークは数十万年前から断続的に続く火山活動によりつくられました。特に約9万年前の巨大噴火は凄まじく、日本中を灰で覆い火砕流は島原半島ユネスコ世界ジオパークまで達しました。その痕跡は、大観峰からどこまでも続く平らな大地やカルデラの景観にみることができます。その大地で人々は活火山の中岳と向き合い、世界最果遠産に認定された農業など独自の文化を育ててきました。今ではその景観や文化、食を巡るジオツアーも盛んです。

Aso UNESCO Global Geopark has been formed by considerable volcanic activities since several ten hundred thousand years. A super eruption occurred 90,000 years ago was so huge. Its volcanic ash spread around Japan and its pyroclastic flow reached to Unzen Volcanic Area UNESCO Global Geopark. The remains can be observed on vast plane plateau and the caldera landscape from Daikanbo lookout. People in Aso have lived harmony with active Nakadake crater and developed unique culture and gourmet as well as maintaining grassland and sustainable agricultural system which are designated as Globally Important Agricultural Heritage Systems. (GIAHS) Why not explore the dynamic landscape, culture and delicious gourmet with our geotourism!

まずはここに行ってみよう！

（公財）阿蘇火山博物館

約30年間の火山活動を記録し、過去から現在までの歴史を映像で楽しむことができる博物館。目の前には草原が広がる草千里があり、近くの展望所では阿蘇カルデラや熊本市内、雲仙普賢岳まで見渡せる絶景が待っています。

〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930-1
TEL. 0967-34-2111 / FAX. 0967-34-2115
Web http://www.asomuse.jp
開館時間 9:00～17:00（年中無休）
入館料 中学生以上 ¥860
（シニア割引:65歳以上 ¥690）
小学生 ¥430 / 幼児以下無料

体験しよう!!

阿蘇ジオガイドツアー

オンデマンド型のガイドツアー。宿泊地やご希望にあわせて阿蘇全域をジオガイドがご案内します。夏休みの自由研究などにもオススメ！

阿蘇カルデラツアー

阿蘇市の対象宿泊施設に宿泊した方のみの限定ツアー！他ではご案内できない切季折々の阿蘇をご紹介いたします。

体験プログラムについてのお問い合わせ
ガイドツアー・**阿蘇ジオパークガイド協会**　TEL. 0967-34-2089　Web http://aso-geopark.jp/kyoukai/reservation/
限定ツアー・**阿蘇インフォメーションセンター**　TEL. 0967-32-1960　Web http://onsen.aso.ne.jp/calderatour/index.html

霧島

Kirishima Geopark

ミヤマキリシマと高千穂峰

九州の南部、宮崎県と鹿児島県にまたがる加久藤カルデラの南縁に形成された霧島山を中心とする火山のジオパーク。
20余りの火山と火口湖でできた火山地形、桜島・開聞岳など南九州の火山列が作る雄大な景観、ミヤマキリシマなど火山ならではの多様な植物が観察でき、周辺には天孫降臨の神々を祀る神社が数多く建立されています。

Kirishima Geopark is comprised of the Kirishima Mountains on the southern edge of the Kakuto Caldera, which is located on the border of the Prefectures of Kagoshima and Miyazaki in southern Kyushu. Here, we can see over 20 volcanoes and crater lakes and beautiful scenery which is created by Mt. Sakurajima, Mt. Kaimondake, and the rest of the volcanic chain. In addition, one can find various florae endemic to the geopark, such as the Kyushu azalea (Rhododendron kiusianum). Nearby are numerous shrines that worship the Shinto gods who descended to Earth.

まずはここに行ってみよう！

えびのエコミュージアムセンター

霧島の自然環境や霧島火山の成り立ちが分かるビジターセンターです。動画やジオラマ、実物の火山噴出物などを中心としたさまざまな展示があり、自然解説員による展示の案内もできます。

〒899-4302
宮崎県えびの市末永1495-5
TEL. 0984-33-3002
FAX. 0984-33-5914
Web http://www.ebino-ecomuseum.go.jp/
開館時間 9:00～17:00（年中無休）
入館料 無料

体験しよう!!

山岳トレッキングから山麓めぐりまで、霧島のさまざまなジオサイトをジオガイドがご案内します！

体験プログラムについてのお問い合わせ
霧島ジオガイドネットワーク
TEL. 0995-64-0936 / FAX. 0995-64-0958
Web http://www.mct.ne.jp/users/kiri-geopark/geoguide/index.html

天草

Amakusa Geopark

牛深炭鉱島椛子抗跡

熊本県の南西に位置する天草諸島。大小120もの島々で構成されるこの地域は、1億年という時間の記録が刻まれ、生命の不思議さを感じさせてくれる、まさに宝の島です。
その島々で繰り広げられる人の営みによって独自の文化が育まれ、豊かな海の幸に恵まれた魅力あふれるエリアが天草ジオパークです。

The Amakusa Islands, consisting of about 120 islands are located in the southwest area of Kumamoto Prefecture: a 100 million year history, not to mention a treasure of ancient fossils offering its visitors a fantastic glimpse into times gone by. A unique culture has been carved out of life on these islands, Amakusa geopark, by its inhabitants adding to the many breath-taking sightseeing opportunities.

まずはここに行ってみよう！

御所浦白亜紀資料館

恐竜やアンモナイト、ほ乳類、貝などたくさんの化石が展示してあります。資料館で情報を収集して、天草ジオパークを楽しみましょう！

〒866-0313 熊本県天草市御所浦町御所浦4310-5（御所浦島開発総合センター内）
TEL. 0969-67-2325 / FAX. 0969-67-2359　Web http://gcmuseum.ec-net.jp/
開館時間 8:30～17:00（入館は16:30まで）/ 年末年始・月曜休館（夏期特別展中は無休）
入館料 大人 ¥200 / 高校生 ¥150 / 小中学生 ¥100 / 幼児以下無料

体験しよう!!

化石採集体験

採集場の岩石から約1億年前の海に生きていた生き物の化石が見つかります。白亜紀資料館でハンマーを借りてでかけましょう。

イルカウォッチング

通詞島周辺海域には約200頭のミナミハンドウイルカが定住しています。自然のイルカが泳ぐ姿をみれば誰もが感激します。

オルレを歩く

天草には九州オルレの天草純松島・天草松島・天草等北の3コースがあります。風光明媚な景観を眺めながら、ゆっくりとコースを楽しめます。

「オルレ」は韓国・済州島の方言で「道から家に続く心地よい路地」という意味。トレッキングコースの総称として呼ばれています。

体験プログラムについてのお問い合わせ
一般社団法人 **天草宝島観光協会**
TEL. 0969-22-2243 / FAX. 0969-22-2390　Web http://www.t-island.jp/

おおいた姫島

Oita Himeshima Geopark

国指定天然記念物「姫島の黒曜石産地」観音崎

姫島は、火山活動によって生まれた4つの小島が砂洲でつながって一つになった島で、随所にみられる火山活動の痕跡や、砂洲の地形を利用して発達してきた産業、生態系など、コンパクトな島内にたくさんのみどころがあります。また、神秘さを色濃く残す姫島の歴史や文化、人々の暮らしの景観もまた、おおいた姫島ジオパークの魅力です。

Oita Himeshima Geopark is a compact geopark, where geosites are closely located, characterized by Pleistocene sediments and seven monogenetic volcanoes. Himeshima is an island, which originally consists of four islets, connected by sand bar. Various topography caused by volcanic activity, mysterious local history and culture, and unique ecosystem are also attractive in Oita Himeshima Geopark.

体息のため姫島に立ち寄る渡り蝶のアサギマダラ

まずはここに行ってみよう！

離島センター やはず

郷土資料室には、姫島村で発見された化石や鉱物、遺跡の出土遺物、民俗資料などが展示されています。

〒872-1501
大分県東国東郡姫島村1630-1
（姫島村役場）
TEL. 0978-87-2282
FAX. 0978-87-3629
開館時間 8:30～17:00（年中無休）
入館料 無料

体験しよう!!

レンタサイクルでジオサイト巡り

レンタカー（電気自動車）でジオサイト巡り

村営フェリーで島を一周するジオクルーズ

おおいた豊後大野

Oita Bungoono Geopark

出会橋・轟橋

9万年前の阿蘇の大噴火により、埋め尽くされた大地は、滝や渓谷などの雄大な景観を産んだだけではなく、その特性を人々が活かし、日本一の数やアーチ長を誇る石橋群や立体的な磨崖仏等の石造文化を生みました。また、1億年前の大地から発見された二枚貝化石は、かつての海底を意味し、その種類の豊富さから、世界の時代の目安ともなりました。

Not only did the great eruption of Mt. Aso 90,000 years ago produce magnificent scenery such as waterfalls and canyons but people also utilized these special land features to create an area with the most stone bridges with the longest length of arch in Japan. Additionally, it created a stone construction culture, as exemplified by the three-dimensional stone sculptures of Buddha. Many fossils of bivalves were discovered from the stratum of 100,000,000 years ago. These fossils suggest that this land used to be under sea and give reference to the age of the world.

まずはここに行ってみよう！

豊後大野市歴史民俗資料館

歴史展示物のほか化石や鉱石、かつて繁栄した鉱山の道具等も展示。施設周辺には「原尻の滝」写真下をはじめジオサイトも豊富です。

〒879-6643　大分県豊後大野市緒方町下田を172番地
TEL. 0974-42-4141 / FAX. 0974-42-2705
Web http://www.bungo-ohno.jp/categories/shisetsu/shiryoukan/
開館時間 9:00～17:00（休館日は月曜・祝日・年末年始）　入館料 無料

原尻の滝

体験しよう!!

ジオチャリで田園巡り

レンタル自転車に乗って、水田と井路が広がる田園風景をのんびり散策してみませんか。

空からジオツアー

大分県央空港からセスナ機に乗り、空からジオを体感!県内の海与三三大瀑布は見ものです。

体験プログラムについてのお問い合わせ
ジオチャリ・**豊旅**　TEL. 080-2796-7329　Web http://toyotabi.net/
空からジオツアー・**九州航空(株)大分県央運航所**　TEL. 0974-34-3016　Web http://www.kyushu-air.com/service/sightseeing-flight.html

桜島・錦江湾

Sakurajima-Kinkowan Geopark

桜島と錦江湾（寺山公園より）

半世紀以上、毎日のように噴煙を上げ続ける活火山・桜島。
目の前には60万都市が広がり、世界的にも珍しい活火山との共生が実現しています。また、桜島を取り囲む錦江湾も大昔の火山活動によって生み出された海。錦江湾の海底には若尊カルデラという海の活火山があります。このように火山の大地を日常的に体感できる場所がここにあります。

For over half a century, the active volcano Sakurajima has been erupting on nearly a daily basis. With a city of over 600,000 people sprawling before it, the way people and Sakurajima live alongside one another is a rarity throughout the world. Kinko Bay, which encloses Sakurajima, was likewise created as a result of volcanic activity. At the seabed of Kinko Bay is an undersea volcano known as the Wakamiko Caldera. Here, you can experience living daily life alongside volcanoes.

まずはここに行ってみよう！

桜島ビジターセンター

大迫力の映像と音響で桜島の噴火を体感できるほか、桜島の大噴火の歴史や地形の変化などを模型や展示で分かりやすく解説しています。

〒891-1419
鹿児島県鹿児島市桜島横山町1722-29
TEL/FAX. 099-293-2443
Web http://www.sakurajima.gr.jp/svc/
開館時間 9:00～17:00（年中無休）
入館料 無料

体験しよう!!

火山ガイドウォーク

火山ガイドと桜島の本物の溶岩原を散策するプログラムです。

桜島天然温泉掘りツアー

限られた条件でしか現れない海辺の秘湯をご案内するプログラムです。

夜の噴火・桜島ナイトツアー

地球の営みを感じられる夜の桜島を巡るツアーです。

体験プログラムについてのお問い合わせ
「みんなの桜島協議会」（NPO法人桜島ミュージアム）
TEL. 099-245-2550 / FAX. 099-245-2551　Web http://www.sakurajima.gr.jp/

三島村・鬼界カルデラ

Mishima Kikai Caldera Geopark

硫黄島・長浜湾

横並びの3島が全く違う表情を見せ、さらに島々を取り囲む美しい海が印象的なジオパークです。活火山を抱き、島の周りには色とりどりの温泉が湧き出ています。「硫黄島」、島全体が竹に覆われ、竹を利用した島の活性化に力を入れる「竹島」、そして"ミニ屋久島"とも称される森と水の豊かな「黒島」。カルデラや火山活動からは過去の大災害を学ぶことができ、鉱物や地熱資源からは将来にわたって火山活動の恵みを体感できます。

Mishima-Kikai Caldera Geopark consists of three islands with totally different features from natural, historical, and cultural aspects. The Iwojima Island which holds an active volcano is surrounded by colorful ocean affected by hot springs. The Takeshima Island is covered with bamboos where residents put emphasis on utilizing them. The Kuroshima Island is said to be "mini-Yakushima" for its deep forest and clear water. The caldera and volcanic activities tell us about huge disasters in the past, on the other hand it provides blessings of mineral and geothermal resources.

まずはここに行ってみよう！

三島開発総合センター

大迫力のジオラマがあるほか、3Dタッチパネルで地形を詳しく紹介します。学会発表のポスター展示や、岩石標本、写真なども多数展示しています。

〒890-0901
鹿児島県鹿児島郡三島村 大字硫黄島90-61
TEL/FAX. 09913-2-2370
Web http://mishima.link
開館時間 9:00-17:00（土日祝日は休館）
入館料 無料

体験しよう!!

東湯泉

絶海の秘湯と名高い東湯泉。大海原を前に最高の露天風呂体験を地球との裸の付き合いを体験しましょう。

海釣り体験

海底カルデラで釣り体験。海底地形が分かるとよく釣れる?初心者でも大漁間違いなしです!

体験プログラムについてのお問い合わせ
三島村観光案内所
TEL/FAX. 09913-2-2370　Web http://mishima.link